

2010年の活動・決算報告です。

開澤真一郎（かい）：ベトナムでは風船を使った「モチ技」を開発！（次号をお楽しみに）した、NICE 代表。

< NICEなニュース・年間ベスト10 >

以下のように、2010年は色々な新しい種を植え、花や実もたっぷり得られた1年でした。これら全てが、大勢の会員、日本・世界中の共催・協力団体の方々に支えられて可能になったのであり、この場を借りて改めて厚く感謝申し上げます！

| | | |
|----|--------------|---|
| 横綱 | 20周年とNICE2.0 | 20年間で主催したワークキャンプは2,584回、参加ボランティアは42,037人+住民100万人以上。2月の記念パーティーには238人が参加。11-12月は記念キャラバンで北海道～九州の19県を巡回。地方展開等の新たな発展も見え、総会で2030年ビジョンも作成☆ |
| 横綱 | COP10とPRサミット | 10月・名古屋のCOP10（国連地球生きもの会議）では特別ワークキャンプを開催、アジアのNGOリーダー12名や名古屋市と協力し、1890枚の短冊を獲得。引き続き東京で行った国際ボランティア界初の「PRサミット」では広報のレベルアップに様々な成果あり。 |
| 大関 | 開催数・史上最多！ | 主催ワークキャンプ数は304で初の300突破、世界1・2を争う水準に。特に週末ワークキャンプが過去最多を30回以上上回った。個人～地球まで多くの成果を生み出した。 |
| 大関 | 新型事業は大発展 | 共に09年開始の「ぼらいやー」（国際ボランティア1年間プログラム）は定員を超える27人、農水省受託の「田舎で働き隊！」は7ヶ所に18人が参加、国内外で活躍。 |
| 大関 | 積極的に政策提言 | 「市民キャビネット」では地球社会・国際部会の部会長をしながら、長期ワークキャンプ等の提言も作成、大臣等に提出。SR円卓会議でも2つの作業部会で森林提言等を主導。 |
| 大関 | アジアを再びリード | 1月のNVDA（アジア・ボランティア発展ネットワーク）総会で、代表に復帰。主導する世界七タアクションは3年通算で22ヶ国・27団体の21,427人が参加、82万本を植林。 |
| 関脇 | 海外への参加は減少 | 参加ボランティアの総数は微減。週末で増えたが、国際・中長期で減少。特に海外参加の日本人が減ったのは「若者の海外離れ」も影響？（それだけで片付けてはいけないが） |
| 関脇 | 会員が一万人を突破 | 正会員1308人+協力会員（会員経験者等）8957人=10,265人に！ワークキャンプの受入先になったり、CSR活動を共催したり、寄付を集める等、様々な形での協力も増加。 |
| 小結 | 地球Vフェスタ盛況 | PRサミットに参加した11ヶ国・12団体・22人のNGOリーダーを含み、164人が参加。各国の国際ボランティア事業を紹介、世界のお茶やゲーム・音楽等も楽しみました。 |
| 小結 | 新アクリルたわし | ベトナムのスラム女性が作った291個（2年間通算）を日本の祭りやセミナーで完売！アンさんはごみ拾いの生活から脱却して、路上でお茶を売る店を持つようになった！ |

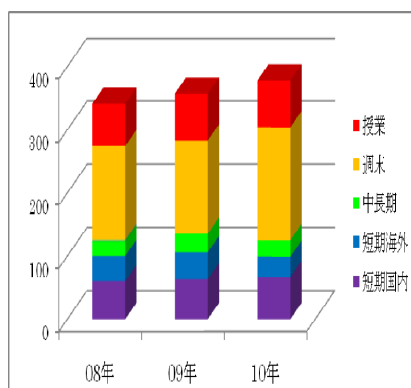
* 団体全体や各事業部門の5大ニュースに挙げられたものから、総合的に判断して選考。活動年度は1/1～12/31。

* その他、第6回開催地サミットの成功、親子ワークキャンプの3年ぶりの復活、中長期ボランティア地球会議の実現、CSRで信頼が深まった2社からの大口寄付、職員の変動（岩田・辻の加入、矢野の産休）、決算好調（後述）なども。

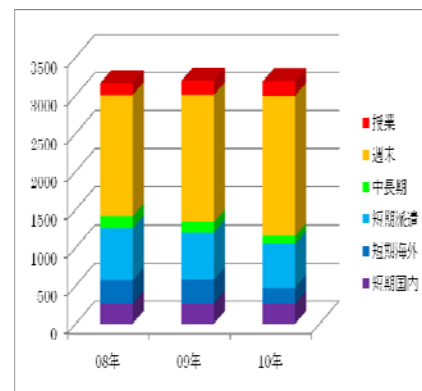
| 2010年の実績 | 事業数 | 日本人 | 外国人 |
|----------|-----|------|-----|
| 短期主催・国内 | 67 | 261 | 224 |
| 短期主催・海外 | 31 | 215 | 121 |
| 短期派遣 | - | 574 | - |
| 中長期・国内個人 | 21 | 1 | 23 |
| 中長期・国内集団 | 4 | 10 | 10 |
| 中長期・海外集団 | 1 | 3 | 0 |
| 中長期派遣 | - | 89 | - |
| 週末 | 179 | 1843 | - |
| 授業開催 | 74 | 188 | - |
| 総数 | 378 | 3183 | 378 |

* 授業＝国士舘・杉並・奉仕の総数。

*



事業数



日本人ボランティア数

2010年に行った活動の、ほんの一コマ



愛知県名古屋市 (10/22-29)

COP10の名古屋市ブースの運営参画。世界七タアクションで団票を配り、短冊1890枚を集め、盛り上げに大貢献！宿泊したゴジカラ村や高校でも交流。



タンザニア

地域別では欧州41%、アジア36%、アフリカ18%、北中南米5%。国別ではアイスランドが「オーロラ効果」で初の1位、2位インド、3位タンザニア。



神奈川県鎌倉市 (07/02-03)

親子週末ワークキャンプには3家族(うち2家族は国際結婚)が参加。有機農業やキャンプ場での海遊びで子ども達もすっかり仲良しに☆



オーストリア (09/01-11/30)

モンテッソーリ教育を行う幼稚園でスポーツや工作を教える。全力で子ども達とぶつかって、先生を補助！今後も子ども関係の活動をしたくなった。



東京都日の出町 (06/05, 10/03, 12/04)

HSBCとのグループ・ワークキャンプ。年間を通じて里山保全や田植え・稲刈り・餅つき。社内でも人気のプログラムとなり、参加者数も各回50を上回る。



エコ・スポンジ・アクション (通年)

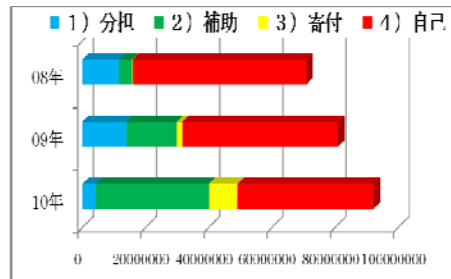
洗剤なしで皿などを洗えるアクリルたわしをベトナムのスラム女性が制作。9月に特別ワークキャンプもを行い、売上+寄付で30万円を創出。

< 収支決算など >

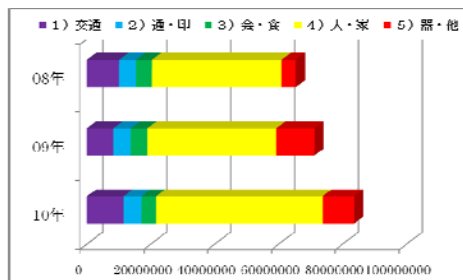
| | |
|-----------------|-------------------|
| 2010年度総収入 | 95,490,719 |
| 2010年度総支出 | 86,805,253 |
| 当期収支差額 | 8,615,466 |
| 次期繰越収支差額 | 41,980,462 |

全体は好調。補助金(農水省、外務省等)と寄付金(特に2社の大口)が大幅増、自己資金(主に会費)は減少。

| 収入内訳 | 08年 | 09年 | 10年 |
|-----------|-----|-----|-----|
| 1) 分担・受託金 | 16% | 17% | 5% |
| 2) 補助・助成金 | 6% | 20% | 39% |
| 3) 寄付金 | 0% | 2% | 10% |
| 4) 自己資金 | 78% | 60% | 46% |



| 支出内訳 | 08年 | 09年 | 10年 |
|----------|-----|-----|-----|
| 1) 交通 | 15% | 12% | 14% |
| 2) 通信・印刷 | 8% | 8% | 7% |
| 3) 会議・食費 | 8% | 7% | 5% |
| 4) 人件・家賃 | 62% | 57% | 62% |
| 5) 器具・他 | 7% | 17% | 12% |



< 補足 >

* 主に組織管理分。共催団体や各チームが分担・管理する様々な事業経費や、ボランティアが負担する渡航費は含まれていない(これらも含めれば、事業財政規模は10億円超に)。

* そのため、収入では会費、支出では人件費の割合が多くなる。人件費は事業担当職員のもの大部分だが、事業費に分類する場合もある)。

* ①自立・安定して運営するため、会費中心(やや変わりつつあるが)、②借金をしない、③事業や部門ごとに独立採算で運営している、のも特色。